

2023年度

科目名称	血液浄化療法概論
授業コード	BA340
英語名称	Introduction to blood purification
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	石田 等 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	血液浄化療法は臨床工学技士の主要業務の一つであり、化学・物理・解剖学・生理学などと密接に関連している。この講義でそれらの関連性を認識すると共に、業務において一番のウェイトを占める血液透析について、第一線で活躍中の臨床工学技士が詳しく解説する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本講義は、臨床工学技士として総合病院にて臨床研究、臨床実務経験のある担当教員が行う。また上記のような実務経験を生かして病院の治療で実際に用いられる医療機器の特性に準じた選定と疾患に対応した使用方法の講義を行う。
到達目標	ディプロマポリシーに掲げる生命科学分野の実践的な専門的知識を修得するため、必要となる血液浄化療法の基礎や考え方を学ぶ。 化学・物理・解剖学・生理学などとの関連性について理解する。 血液浄化療法全般について理解する。 血液透析については、その原理や仕組みを論理的に説明できるようにする。 専門領域の知識だけではなく、ジェネリック・スキルや医療従事者に必要なスキルや心構えについて理解する。
計画・内容	第1回 ガイダンス・血液浄化療法の歴史と現況 第2回 腎臓の解剖・生理（解剖を中心に） 第3回 腎臓の解剖・生理（生理を中心に） 第4回 血液透析の原理、浄化器 第5回 浄化器の性能評価 第6回 血液透析の構成・構造と周辺機器の構成 第7回 バスキュラーアクセス・抗凝固剤・透析液 第8回 水処理システム、水質管理 第9回 実際の治療方法と治療指標 第10回 患者管理 第11回 患者監視装置の構成と原理 第12回 血液透析用回路のプライミング（実習） 第13回 血液透析濾過について 第14回 その他の血液浄化療法（アフェレシス） 第15回 まとめ
授業の進め方	基本的にPowerPointを用いて行うが、教科書や実際の機器を用いることもある。講義内容補填のためプリントを配布することがある。テーマによっては演習やレポート提出、グループワークも行う。
能動的な学びの実施	グループディスカッション・グループワークを実施することで能動的にも学べるような環境を整える。
授業時間外の学修	予習は教科書の該当部分を読んでおくこと（各回1時間程度） 復習は授業の最後に示すまとめの部分を見直し理解を深めること（合計60時間程度）
教科書・参考書	教科書：（編集）小野哲章、他（書名）臨床工学技士標準テキスト 第3版（出版社）金原出版

2023年度

成績評価方法と基準	・課題をすべて提出していることが前提である 小テスト20%、定期テスト70%、レポート・授業態度10%
課題等に対するフィードバック	レポートはコメントを付与して返却する。
オフィスアワー	講義前後10分
留意事項	講義の進行状況によってはシラバスに示す時間割からずれることがある。 本科目は今後の学習に向けて必要であるため必ず履修すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	ZOOMによるオンライン授業 授業中の課題小テスト40%、ZOOMによる期末テスト50%、授業出席態度10%によって評価するがZOOMでの実施が困難な場合、授業中の課題提出を重視する(50%)